

(5) 中学校英語

① 調査区分ごとに見た傾向

平均正答率

平均正答率は、全国に比べ 1.0 ポイント低い。

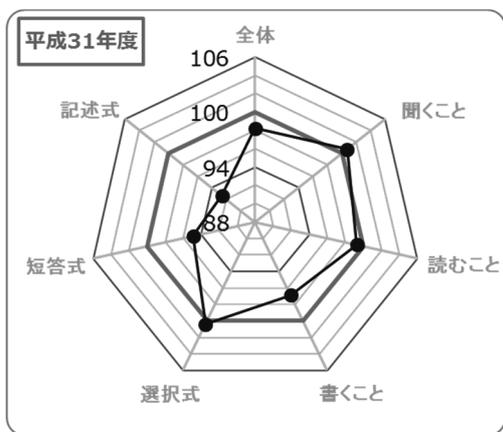
領域

全国を 100 とした時の指数に比べ、「聞くこと」が 0.7 ポイント高く、「読むこと」は 0.7 ポイント、「書くこと」は 3.1 ポイント低い。

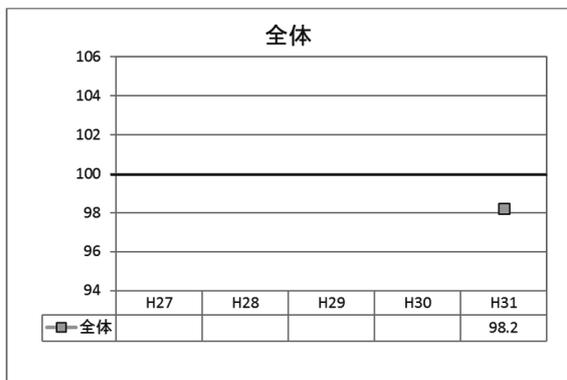
問題形式

指数では、「選択式」が 0.4 ポイント高く、「短答式」は 5.1 ポイント、「記述式」は 7.4 ポイント低い。

○チャートグラフ



○経年変化グラフ



② 成果と課題

全体的な状況	成果	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 情報を正確に聞き取ること、聞いて概要を理解することについて相当数の生徒ができています。 ◇ 生徒質問紙の「英語への関心等」への肯定的回答の割合は全国に比べ高い。
	課題	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 3人称単数現在形の文など、語や文法事項等を正しく用いて文を書くことや、与えられたテーマについて考えを整理して正しく内容を伝えることに課題がある。 ◆ 問題形式別にみると、全国に比べ、「短答式」、「記述式」が低く課題がある。また、「短答式」「記述式」のすべての設問において、無解答率が全国よりも高い。
聞くこと	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 情報を正確に聞き取る設問である【1(1)】(千葉91.3%、全国91.1%)及び【1(2)】(千葉88.4%、全国88.6%)、まとまりのある話の概要を理解できているか問う設問【3】(千葉82.4%、全国82.0%)は、相当数(正答率80%以上)の生徒ができています。 ◆ 聞いて把握した内容について英語で適切に応じる設問【4】(千葉7.7%、全国7.6%)は、全国を上回ったが、正答率は低い状況である。また、この設問の無解答率は千葉46.2%、全国42.3%で、本県では半数近くが無解答という状況である。聞いて理解するだけの活動ではなく、話し手の働きかけに対してどのような応答がふさわしいのか考えさせ、自分の考えや意見を表現させる活動を積み重ねることが大切である。 	
読むこと	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 日常的な話題について情報を正確に読み取る設問【5(1)】(千葉77.4%、全国79.4%)、【5(2)】(千葉73.7%、全国74.4%)、【5(3)】(千葉74.3%、全国73.1%)は、70%を超える生徒ができています。 ◆ まとまりのある文章を読んで書き手が最も伝えたい内容を選ぶ設問【7】(千葉34.3%、全国32.8%)及び資料を読んで文中に書かれた問いかけに対する自分の考えを書く設問【8】(千葉9.7%、全国10.9%)は、正答率が低い状況である。読む目的を理解させ、複数の情報の中から、書き手が最も伝えたいことは何かを考えさせる指導が大切である。また、英文の意味を理解するだけではなく、賛否や感想、自分の考えなどを話したり書いたりして表現するなど、領域間の統合的な言語活動に結び付けていくことが重要である。 	
書くこと	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 文の中で適切に接続詞 if を用いることができるか問う設問【9(1)①】(千葉78.5%、全国79.9%)及び一般動詞の2人称単数現在時制の疑問文を正確に書くことができるか問う設問【9(2)①】(千葉73.1%、全国73.6%)は、70%を超える生徒ができています。 ◆ 与えられた情報に基づき3人称単数現在時制の肯定文・否定文を正確に書けるか問う設問【9(3)①】(千葉49.2%、全国53.5%)、【9(3)②】(千葉29.2%、全国32.9%)、【9(3)③】(千葉34.5%、全国37.4%)は、正答率が低く、課題がある。また、2つの案を比較してどちらがよいか理由とともに意見を書く設問【10】(千葉1.4%、全国1.8%)は正答率が2%未満で大きな課題がある。 	
話すこと	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 全国(国公立)において、すべての設問で正答率が50%未満となっている。特にやり取りを聞き、即興で質問をする設問【2】(全国10.5%)は、正答率が低く、無解答率も高くなっている。生徒同士が準備なしでやり取りをする機会を計画的・継続的に設定すること、教師が既習の文法事項を用いて生徒との即興的なやり取りを楽しむことが重要である。また、Teacher Talk など大量の英語を与えることも必要である。 	

③ 各設問の結果

(凡例)

[出題の趣旨]

「課題改善」 過去の調査結果からの課題を踏まえた問題
 「同一」 過去の調査と同一の問題

[領域] 学習指導要領の領域

「聞」 聞くこと 「話」 話すこと
 「書」 書くこと 「読」 読むこと

[評価の観点]

「関」 コミュニケーションへの関心・意欲・態度
 「表」 外国語表現の能力 「理」 外国語理解の能力
 「言」 言語や文化についての知識・理解

[問題形式]

「選」 選択式 「短」 短答式/口述式(話すこと)
 「記」 記述式/口述式(話すこと)

■ : 全国を下回るもの
 △(良好) : 全国との差3.0ポイント以上
 ▼(課題あり) : 全国との差3.0ポイント以上

●聞くこと、読むこと、書くこと

問題	設問番号	設問の概要	出題の趣旨	領域	評価の観点	(参考)		問題形式	正答率		無解答率		
						「知識」に関する問題	「活用」に関する問題		千葉県(公立)	全国との差	千葉県(公立)	全国との差	
1	(1)	ある状況を描写する英語を聞いて、その内容を最も適切に表している絵を選択する	語と語の連結による音変化をとらえて、情報を正確に聞き取ることができる	聞	言	○		選	91.3	0.2	0.1	-0.1	
	(2)	教室英語を聞いて、その指示の内容を最も適切に表している絵を選択する	教室英語を理解して、情報を正確に聞き取ることができる	聞	言	○		選	88.4	-0.2	0.1	0.0	
	(3)	外国人の先生と女子生徒の会話を聞いて、その内容を最も適切に表している絵を選択する	日常的话题について、情報を正確に聞き取ることができる	聞	言	○		選	74.0	1.7	0.1	-0.1	
	(4)	家での会話を聞いて、その内容を最も適切に表している絵を選択する	日常的话题について、情報を正確に聞き取ることができる	聞	言	○		選	65.4	3.6	△	0.1	-0.1
2		イギリスと日本の類似点や相違点についてのスピーチを聞いて、話の展開に合わせて示す絵を並び替える	まとまりのある英語を聞いて、話の概要を理解することができる	聞	理		○	選	69.3	-2.5	0.1	-0.1	
3		天気予報を聞いて、ピクニックに行くのに最も適する曜日を選択する	まとまりのある英語を聞いて、必要な情報を理解することができる	聞	理		○	選	82.4	0.4	0.1	-0.1	
4		来日する留学生の音声メッセージを聞いて、部活動についてのアドバイスを書く	聞いて把握した内容について、適切に応じることができる	聞	理		○	記	7.7	0.1	46.2	3.9	▼

問題	設問番号	設問の概要	出題の趣旨	領域	評価の観点	(参考)		問題形式	正答率			無解答率		
						「知識」に関する問題	「活用」に関する問題		千葉県(公立)	全国との差	千葉県(公立)	全国との差		
5	(1)	ある場所を説明する英文を読んで、空所に入る語句として最も適切なものを選択する	日常的な話題について、簡単な語句や文で書かれたものの内容を、正確に読み取ることができる	読	言	○		選	77.4	-2.0		0.1	-0.1	
	(2)	ある状況を描写する英文を読んで、その内容を最も適切に表している絵を選択する	日常的な話題について、簡単な文で書かれたものの内容を、正確に読み取ることができる	読	言	○		選	73.7	-0.7		0.2	0.0	
	(3)	月ごとの平均気温を表したグラフを見て、その内容を正しく表している英文を選択する	日常的な話題について、簡単な文で書かれたものの内容を、正確に読み取ることができる	読	言	○		選	74.3	1.2		0.4	0.0	
6		発表活動のためにまとめられた100円ショップについての文章を読んで、話の流れを示すスライドとして最も適切なものを選択する	まとまりのある文章を読んで、話のあらすじを理解することができる	読	理		○	選	61.9	-1.0		0.5	0.1	
7		チンパンジーに関する説明文とその前後にある対話を読んで、書き手が最も伝えたい内容を選択する	まとまりのある文章を読んで、説明文の大切な部分を理解することができる	読	理		○	選	34.3	1.5		1.1	0.1	
8		食糧問題について書かれた資料を読んで、その問題に対する自分の考えを書く	書かれた内容に対して、自分の考えを示すことができるよう、話の内容や書き手の意見などをとらえることができる	読	理		○	記	9.7	-1.2		33.6	5.7	▼
9	(1)①	文中の空所に入れる接続詞として、最も適切なものを選択する	文の中で適切に接続詞を用いることができる	書	言	○		選	78.5	-1.4		0.3	0.0	
	(1)②	文中の空所に入れる接続詞として、最も適切なものを選択する	文の中で適切に接続詞を用いることができる	書	言	○		選	60.6	2.4		0.5	0.0	
	(2)①	与えられた英語を適切な形に変えたり、不足している語を補ったりなどして、会話が成り立つように英文を書く	一般動詞の2人称単数現在時制の疑問文を正確に書くことができる	書	言	○		短	73.1	-0.5		5.1	0.7	
	(2)②	与えられた英語を適切な形に変えたり、不足している語を補ったりなどして、会話が成り立つように英文を書く	一般動詞の1人称複数過去時制の肯定文を正確に書くことができる	書	言	○		短	28.6	-0.3		14.3	1.7	
	(3)①	与えられた情報に基づいて、ある女性を説明する英文を書く	与えられた情報に基づいて、3人称単数現在時制の肯定文を正確に書くことができる	書	言	○		短	49.2	-4.3	▼	7.9	1.5	
	(3)②	与えられた情報に基づいて、ある女性を説明する英文を書く	与えられた情報に基づいて、3人称単数現在時制の肯定文を正確に書くことができる	書	言	○		短	29.2	-3.7	▼	11.1	1.8	
	(3)③	与えられた情報に基づいて、ある女性を説明する英文を書く	与えられた情報に基づいて、一般動詞の3人称単数現在時制の否定文を正確に書くことができる	書	言	○		短	34.5	-2.9		12.2	1.7	

問題	設問番号	設問の概要	出題の趣旨	領域	評価の観点	(参考)		問題形式	正答率		無解答率	
						「知識」に関する問題	「活用」に関する問題		千葉県(公立)	全国との差	千葉県(公立)	全国との差
10		学校を表す2つのピクトグラム(案内用図記号)の案を比較して、どちらがよいか理由とともに意見を書く	与えられたテーマについて考えを整理し、文と文のつながりなどに注意してまとまりのある文章を書くことができる	書	表		○	記	1.4	-0.4	10.5	2.2

●話すこと

問題	設問番号	設問の概要	出題の趣旨	領域	評価の観点	(参考)		問題形式	正答率		無解答率	
						「知識」に関する問題	「活用」に関する問題		全 国 (※参考値)	全 国 (※参考値)		
1	(1)	カレンダーを見て、少女の誕生日を答える	月日に関する基本的な表現を理解して、応答することができる	話	言		○	短 ／ 口	27.3		8.6	
	(2)	テレビを見ている2人の子供の絵を見て、何をしているのか答える	基本的な文法(現在進行形)を理解して、応答することができる	話	言		○	短 ／ 口	44.7		6.6	
	(3)	バスで登校する少年の絵を見て、交通手段を答える	適切に強勢を置き、交通手段に関する基本的な表現を理解して、応答することができる	話	言		○	短 ／ 口	25.7		7.0	
2		ユイコとアラン先生のやり取りを聞き、その内容を踏まえて会話が続いていくように、即興で質問をする	聞いて把握した内容について、やり取りすることができる	話	表		○	記 ／ 口	10.5		20.7	
3		海外のテレビ局の要望に応じて、自分の将来の夢、またはやってみたいこと等を話す	与えられたテーマについて考えを整理し、まとまりのある内容を話すことができる	話	表		○	記 ／ 口	45.8		4.6	

中学校・英語【課題の見られた設問の例】

4	問題の概要・趣旨	正答率(%)		無解答率(%)	
	聞いて把握した内容について、適切に応じることができる (聞くこと)	県	差	県	差
		7.7	+0.1	46.2	+3.9

※「差」は、全国平均との差を示している。

4 (放送問題)
英語の授業で、来日予定の留学生からの音声メッセージを聞くところです。メッセージの内容を踏まえて、あなたのアドバイスを英語で簡潔に書きなさい。

[スクリプト]

Hello. I'm Nick. I'm looking forward to meeting you. I'm going to stay in your country for two weeks. I hear that there are a lot of club activities in Japanese schools. I want to try some! Which club activities can I try? Can you give me some advice? I'm waiting for your answer. Thank you.

○正答は、You can try the judo club. など、部活動のアドバイスになっていて、理解できる英語で伝えたい内容が書かれているものである。本県では、Enjoy Japanese culture. など部活動についてのアドバイスになっていない解答が 28.3%、文法等に誤りがあり内容が理解できない解答が 14.7%となっている。英語を聞いて適切に応じる活動が日頃の授業であまり行われていないことが要因の1つと考えられる。

○学習指導に当たっては、「聞くこと」が目的をもって行う能動的な活動であることを念頭に置き、聞いて理解するだけの活動にしないことが大切である。話し手などのような応答がふさわしいのか考えさせ、内容を踏まえて自分の考えや意見を表現させることが重要である。実際に聞いて応じる活動を積み重ね、体験的に身に付けさせていくことも必要である。

7	問題の概要・趣旨	正答率(%)	
	まとまりのある文章を読んで説明文の大切な部分を理解することができる (読むこと)	県	差
		34.3	+1.5

7 中学生の一部は、スミス先生 (Ms. Smith) と話しています。次の会話文中の () 内に入る最も適切なものを、右の1から4までの中から1つ選びなさい。

Ms. Smith: Ichiro, why don't you read this article? It's interesting.
Ichiro: Oh, thank you, but it's all in English. That's difficult for me.
Ms. Smith: This newspaper is for students. Try reading it!
Ichiro: OK.

[Ichiro reads the article.]

Chimpanzees are one of the smartest animals. They can do a lot of things. How smart are they? A team at a university in Japan found the answer. Some chimpanzees may be as smart as four-year-old children in some ways.

Few animals can understand *janken*. In *janken*, none is the strongest among *rock*, *scissors*, and *paper*. Learning about the relation among the three is very difficult.

The team tried teaching *janken* to seven chimpanzees. They showed pictures of two different *janken* hands to the chimpanzees. The chimpanzees got food when they pointed to the stronger one. Finally, five of the chimpanzees learned *janken*.

The team also tried teaching *janken* to some human children. They found that children could learn *janken* when they were about four years old. Through this study, they got the answer to the question: "How smart are chimpanzees?"

[A few minutes later]

Ms. Smith: What is the most important point in this article?

Ichiro: ().

Ms. Smith: Right. That is the main point.

(注) article: 記事 chimpanzee: チンパンジー four-year-old: 4歳の
few: ほとんどない none is ~: いずれも~ない among ~: ~の中で
rock, scissors, and paper: グー、チョキ、パー (じゃんけんの手の出し方)
relation: 関係 human: 人間の study: 研究

- 1 Some chimpanzees may be as smart as four-year-old children
- 2 Few animals can understand *janken*
- 3 The team showed pictures of two different *janken* hands to the chimpanzees
- 4 The team found that children could learn *janken* when they were about four years old

○正答は「1」である。誤答については、2が19.8%、3が25.4%、4が19.3%となっている。1~4は全て本文中に述べられている情報である。誤答の原因は、文章の内容が理解できていなかったり、How smart are they?という手掛かりを基に書き手が最も伝えたいことを判断できていなかったりしていることと考えられる。

○学習指導に当たっては、文章全体を漫然と読ませるのではなく、繰り返し用いられている語句や問いかけなどの手掛かりを基に、最も大切な語句や文を選ばせたり、各段落の働きを理解させたりすることが重要である。また、文章の最も大切な部分について意見交換をする活動も有効である。このような活動を行うには、日常的な話題にとどまらず、社会的な話題についての題材も扱うことが大切である。

8	問題の概要・趣旨 書かれた内容に対して、自分の考えを示すことができるよう、話の内容や書き手の意見などをとらえることができる(読むこと)	正答率(%)		無解答率(%)	
		県	差	県	差
		9.7	-1.2	33.6	+5.7

8 英語の授業で、次のような資料が配られました。これを読んで、文中の問いかけに対するあなたの考えを英語で簡潔に書きなさい。

There are a lot of hungry people in the world. The World Food Programme gives food to about 90,000,000 people in 83 countries. Japan is a member of this project. However, here in Japan, people waste more than 6,000,000t of food every year. It means that one person wastes two rice balls every day. We waste food not only at home, but also at restaurants, convenience stores, supermarkets, schools, and some other places. That is really *mottainai*! We have to stop wasting food now. What can we do about this problem?

(注) the World Food Programme: 世界食糧計画 (国際連合の事業)
project: 事業 waste: ～を無駄にする rice ball: おにぎり
not only ～, but also …: ～だけでなく、…も

○正答は、「We don't waste the food in our school lunch.」など、具体的な解決策になっていて、理解できる英語で伝えたい内容が書かれているものである。We have to stop wasting food. など具体的な解決策になっていない解答が 36.9% となっている。このように解答している生徒は、内容を繰り返しているだけ、感想を述べているだけなど、解決策としての適切さに欠けており、資料の内容を十分にとらえられていないと考えられる。意見自体を持っていない解答をしている生徒は、読み手として主体的に考えたり、判断したりしながら理解することができていないと考えられる。また、語や文法に誤りがあり内容が理解できない解答が 17.9% となっている。

○学習指導に当たっては、読む目的に応じて要点を把握した上で、得られた複数の情報を総合的に判断し、内容に対する感想や賛否、自分の考えなどを話したり書いたりして表現するなど、領域間の統合的な言語活動を工夫することで、批判的な読み方を育てることが重要である。

9(3)	問題の概要・趣旨 与えられた情報に基づき 3 人称単数現在時制の肯定文・否定文を正確に書くことができる(書くこと)	正答率(%)		
			県	差
		①	49.2	-4.3
		②	29.2	-3.7
③	34.5	-2.9		

(3) 次の表の①から③は、ある女性に関する現在の情報を示しています。これらの情報を用いて、彼女について説明する英文をそれぞれ書きなさい。

①	出身	Australia
②	住んでいる都市	Rome
③	ペット (pet) の有 (○) 無 (×)	×

※ 下の枠は、下書きに使ってもかまいません。解答は必ず解答用紙に書きなさい。

①

②

③



○正答は、3 人称単数現在時制の肯定文または否定文を正確に書いているものである。①では、問題の指示文を正しく理解できていない生徒や She from Australia. のように動詞の欠落などの語や文法事項等を理解していない生徒が 37.5% であった。②では動詞の活用形に誤りがある生徒が 16.6%、語や文法事項に誤りがある生徒が 21.5%、これらとは異なる誤りがある生徒が 21.1% であった。③では一般動詞の否定形や動詞の活用形に誤りがある生徒が 21.5%、語や文法事項に誤りがある生徒が 8.2%、これらとは異なる誤りがある生徒が 22.5% であった。3 人称単数現在時制の肯定文、否定文を正確に書くこと、基本的な語や文法事項等を理解して文を書くことに課題がみられる。

○学習指導に当たっては、コミュニケーションの目的や場面、状況のある言語活動において、様々な個別の知識を活用させて文を書かせること、生徒の誤りについて生徒自身に考えさせるなどの指導を繰り返すことが大切である。具体的には、Show and Tell など、3 人称を扱った言語材料でやりとりすることを様々な場面で繰り返し行う活動、生徒同士で読み合い、誤りを修正するような活動に取り組んでいくことが重要である。

10	問題の概要・趣旨 与えられたテーマについて考えを整理し、文と文とのつながりなどに注意してまとまりのある文章を書くことができる（書くこと）	正答率(%)		無解答率(%)	
		県	差	県	差
		1.4	-0.4	10.5	+2.2

10 海外のある町が、外国人旅行者にも分かりやすいタウン・ガイドを作成するために、「学校」を表す2つのピクトグラム（案内用図記号）のうち、どちらがよいかウェブサイトで意見を募集しています。どちらかの案を選び、2つの案について触れながら、あなたの考えを理由とともに英語以上の英語で書きなさい。



※ 短縮形（I'mやdon'tなど）は1語と数え、符号（,、?など）は語数に含めません。

（例） No. I'm not. 【3語】

○正答の条件は、①どちらの案がよいか1つ選んで意見を書いていること、②選んだ理由等について2つの案に触れながら書いていること、③25語以上の英語で書いていることである。誤答で多かったものは、条件③を満たさないで解答しているもの（29.5%）、条件を満たしているがコミュニケーションに支障をきたすような語や文法事項等に誤りがあるもの（29.3%）であった。この結果から、コミュニケーションに支障をきたすような誤りを修正することで改善が図られていくと考えられる。

○学習指導に当たっては、テーマについて自分の考えを持つことや、伝えたいことを読み手に正しく伝えるために語や文法事項等を正しく理解して書き表すことができるようにすることが必要である。さらに、文章構成や形式の指導も大切である。「話して書く」「読んで書く」等の領域を統合した指導、書くことを増やすための指導、I, You以外の主語を用いて書く指導などを計画的・継続的に取り入れることが必要である。

【話すこと調査】

2	問題の概要・趣旨 聞いて把握した内容について、やり取りすることができる（話すこと）	正答率(%)		無解答率(%)	
		全国（国公立）			
		10.5		20.7	

大問2 あなたは、ユイコとアラン先生と話しています。まず、ユイコとアラン先生が、2人で話している場面から始まります。そのあと、あなたが尋ねられたら、2人のやり取りの内容を踏まえて、会話が続いていくように英語で応じてください。解答時間は20秒です。それでは始めます。

ユイコ あなた アラン先生

A: Look at this picture of my family.

A: This is my favorite picture.
Y: Nice! Who is she?
A: Oh, she is my mother, Nancy. And he is my brother, Tom. He can cook very well.
Y: I see. What kind of work does your mother do?
A: She is a teacher.

アラン先生が用意している写真

A: Do you have any other questions about them?
(解答時間 20秒)

※「話すこと」調査結果は、英語（聞くこと、読むこと、書くこと）とは実施生徒数が異なるため「参考値」として集計しています。都道府県別、指定都市別の公表は行っていないので、ここで示している数値は、全国（国公立）のものとなります。

○正答は、「What does he cook?」など、正しく伝わる英語で、やり取りを踏まえた質問をしているものである。聞いた英語が十分に理解できなかったり、やり取りの英語をほとんど聞き取ることができなかったりした生徒が多かったと考えられる。誤答では、I'm hungry. Christmas chicken very good. など、やり取りを踏まえた内容を解答していないものが 33.5%であった。また、What your brother cook food?など、助動詞や動詞の欠落もみられた。

○学習指導に当たっては、準備時間を設けず、最初から即興性のあるやり取りや場面を設定することが重要である。日頃から継続的にやり取りをする機会を増やし、やり取りができる力を育てることが大切である。また、教師自身が生徒とやり取りをすることで、ストラテジー（会話を継続・発展させる方法）使用のモデルを示したり、既習の教科書を用いて、本文中の会話にどのようなストラテジーが使われているかを生徒に振り返らせたりすることも有効である。

英語
TYPE
L

「即興で伝え合う力を高めよう」

～聞いて把握した内容について、やり取りをする～

情報や考えを即興にやり取りしたり、相手の発言の内容を踏まえてそれに関連した質問や意見を述べたりして、会話を継続させていくことに課題が見られました。そこで、本授業アイデア例では、①教師が会話を継続・発展させるためのモデルを見せるInteractive Teacher Talkの活動事例と、②教科書の対話文を基に「会話を継続・発展させる方法」について考える活動事例を紹介します。

課題の見られた問題の概要と結果

話すこと 2 即興でやり取りをする

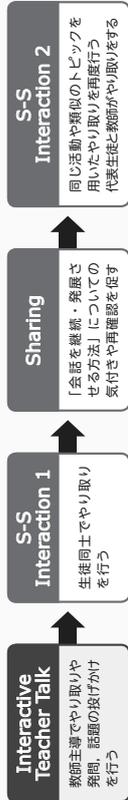
正答率 10.5% ユイコとAlan先生のやり取りの聞き、その内容を踏まえて会話が続いていくように、即興で質問をする

学習指導要領における領域・内容

言語活動
イ 話すこと (ウ)

授業アイデア例

【言語活動を通してコミュニケーションを図る資質・能力を育成する学習の流れ】



帯活動として上のステップをセットで行う ※ [中学校外国語：移行期間における指導資料] 参照

①教師が会話を継続・発展させるためのモデルを見せる Interactive Teacher Talk の活動事例

いさなり質問をするのではなく、教師自身のことを語る

最初の成否を受けてやり取りを継続させる（一人一人の生徒の反応を大切に取上げていく）

やり取りを中断しないように、生徒の意図をとらえて英語で応答する

英語が苦手な生徒には、一文が長くならないように切ったり、ポーズを十分に取ったりして伝える

やり取りを継続・発展させるながら話題を元に戻す。既習の三単現など、やり取りを妨げない程度に強調して発話する

① 他の生徒に質問を促す（他の生徒がやり取りに耳を傾ける工夫の1つ）

② 最後の場面では、再度同じ生徒に最初の質問を振ることもできる

Yuma: ... Sleeping?

Alan: I like watching movies in my free time. It's a lot of fun. What do you usually do in your free time, everyone? How about you, Yuma?

Yuma: You usually sleep in your free time. I like sleeping, too. I also like walking (ジョギング) などととも(に) my dog, too. Do you like dogs?

Alan: Oh, you like cats! I see. Yuma, do you keep a cat in your house?

Yuma: Keep ... 飼ってる? Oh, yes. I keep two ... ah ... no, three cats.

Alan: Ah, yes! My cat ... Leo, he is very young. He like ... tennis ball.

Yuma: Yes, he likes ... a tennis ball. Leo can talk with Leo!

Alan: ① Yuma, can Leo understand English?

Yuma: ② Ah, OK. I have ... three cats in my house. My cat, Leo likes a tennis ball. I can ... I can play with Leo ... in my free time!

Alan: ① Wow! Thank you, Yuma. Everyone, do you have any questions ABOUT HIS CATS?

Yuma: ② Really? Thank you, Yuma. Tell us about your cats and your free time. You have...?

My Favorite Picture

Alan 先生が、お気に入りの写真を Yuiko と Ken に紹介しています。

A: Look at this picture of my family.
This is my favorite picture.
Y: Nice! Who is she?
A: Oh, she is my mother, Nancy. And he is my brother, Tom. He can cook very well.
Y: I see. | | |
A: She is a teacher. Do you have any other questions about them?
K: | 2 |

*本課題「話すこと」文2の英文を教科書の対話文の代わりに使用



【1】の後にAlan先生が「She is a teacher」と答えているから、職業を書いているのかな。
【2】は... any other... であるから... 「ほか」に... ということかな。じゃあ、それまでに聞いていないことを質問したいわけだから...「What subject does your mother teach?」なんてどう？



Yuikoは黙っていないで反応しているよ。相手からリアクションがあるんじゃないか。更に質問しているから話が繋がっていくね。

Look at these underlined parts. (下線部を指し示しながら) They are important in conversation. Why? Talk in groups.

対話文をクラスに提示し、気付かせたい表現に下線を引いたり、空欄にしたりして生徒が考える場面を設定する

②教科書の対話文を基に「会話を継続・発展させる方法」について考える活動事例

本授業アイデア例「活用のポイント」

①教師が会話を継続・発展させるためのモデルを見せる Interactive Teacher Talk の活動事例

- 教師が生徒とやり取りを十分に聞かせたり、教師自身の意図や感情を伝えたりする。Rightなどのコメントで終わらせず、関連した質問をしたり、質問を促したり、教師自身が意図や感情を伝えたりする。
- 教師が会話を継続・発展させる方法を用いて、やり取りのモデルになる。文法や語彙への意図はもたせながら、やり取りの流れが失われないようにする。
- 活動にリトライさせる。類似の活動に再挑戦できる場面を設定し、生徒が会話を継続・発展させる方法を意識して、即興的なやり取りに自信をもって取り組めるようにする。

②教科書の対話文を基に「会話を継続・発展させる方法」について考える活動事例

- 既習の教科書の対話文をうまく活用する。意味や内容、場面を理解した既習の英文を扱うことで、生徒が、会話を継続・発展させる動きや会話の流れに注目して活動に取り組むことができる。
- 生徒がペアやグループで話し合う場面を設定する。教師が最初から説明せず、生徒同士で話し合い、会話の流れや既習表現の動きに関する理解を促す。

参照 ▶ 「平成31年度（令和元年度）報告書 中学校 英語」P.76～P.80、「平成31年度 解説資料 中学校 英語」P.58～P.60
※ [中学校外国語：移行期間における指導資料（小中接続・帯活動）]
http://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/detail/_icsFiles/afieldfile/2019/07/73/1414464_2.pdf
右のQRコードからEPDFファイルへアクセス可能

